



若葉前夜のおむかえ待つ間
まだかまだかと過ぎてくライト

米子校舎 小学5年 稲田 千夏

君たち
僕たち



米子校舎 中学1年
浜本 昊椰さん



境港校舎 中学3年
小川 桃佳さん

ゲームとマンガに夢中です。とり立てて今、「将来の夢はないし、考えたこともない」なんて、そんなのは今も昔も中学一年生の当たり前でしょう。ただ、強いてあげるとしたら「本屋さん」。だって好きなマンガを最初に読めるから…。

好きなものは何だって同じ部屋の兄ちゃんの影響です。「これ良いよ」「面白いよ」と教えてもらうと、すぐに好きになってしまいます。新刊が出るという情報があれば、話題はそればかりの楽しい毎日、でも手に入れようものなら、それが兄弟ゲンカの原因そのものです。さて、イヤなのか、楽しいのか、にやけ顔です。

三人きょうだいの末っ子、若葉もその影響です。「ほかの中学校の人と仲良くなれると楽しいよ」と言われました。「もともと会社に入ったときに働きやすいのでコミュニケーション能力はつけたいと思っていました。だから緊張したけど声をかけてみました。仲良くなれました。影響を受けた割にしっかりしています。ちなみに得意科目は数学。毎日残って勉強をしています。毎晩のお迎えに感謝致します。

(担当 佐布)

彼女に取材して貰った先に将来の夢を聞くと「SDGsに携わる仕事がしたい。」という返答。私の頭の中は「？」となり、すぐにググりました(涙)「SDGs」とは貧困と飢餓の撲滅など、2030年までに世界で達成すべき国際社会共通の17の目標のことです。現在では日本でも多くの取り組みを始めています。彼女はとりわけ宇宙工学に強い関心があるそうで、将来はそういう方向に進み、SDGsに携わりたいと心に決めてはいるのです。私が中学生の時は将来の夢などなかったのですが、そこまで具体的に夢を語れるなんて「すごいなー」とつくづく感じました。世界を相手にする仕事をするためには英語の勉強を頑張っていて、来月には英検準2級に挑戦します。小学生の頃は、そるぼんで鳥取県チャンピオンにもなりました。「夢を叶えるためにまずは絶対に米子東高に進みます。」と最後に一点の曇りもない決意を語ってくれました。取材していて私の方が彼女から力をももらったかもしれません。何かにまっすぐに向かう姿勢は本当に綺麗で美しい。

(担当 角)

卒業生はいま!



株式会社アルコン勤務
金崎 翔矢さん

office&campus



卒業生紹介の担当が回ってきて、誰に頼もうかと迷っていたところでした。そんな時に思いがけず訪ねてきてくれたのが彼で、急遽お願いしてお話を聞かせてもらうことになりました。

彼はクラークを卒業後、情報系の専門学校に進学しました。ところが、実際は自分の関心ある分野とは異なっていたようで、このまま学校を続けるのかどうかも悩んだと言います。

結局一年間悩んだ末に退学を決定しました。

その後、現在の職場の採用試験に応募したのですが、その際は面接もしてもらえずに不採用になったと言います。しばらくして、今度はアルバイト募集の広告を見つけたそうで、めげずに再度応募すると、今度は面接をしてもらったことになったとのこと。彼は電話で応募する際に、「営業やサービスの職種を希望」と伝えたとそうですが、「サービス」の部分が「整備」と聞き間違えられたらしく、そのおかげで面接にこぎつけたとか。滑舌の悪さが救いになりましたと語ってくれた彼でした。

そんなこんなで、アルバイトとはいえ何とか就職することができたのですが、職種は整備士。元々車やバイクに関心のある彼ではあります。整備士の資格など所有していません。現在は、整備士の助手として働きながら、整備士の資格取得のための勉強をする日々を送っています。およそ三か月ごとに正社員になるための試験があるそうで、そちらの試験の勉強も大変そうなのですが、今の厳しい状況を乗り越えて、立派な整備士になってほしいと思います。

(担当 福本)

入試に対する気持ちを植えます。若葉模試開始!

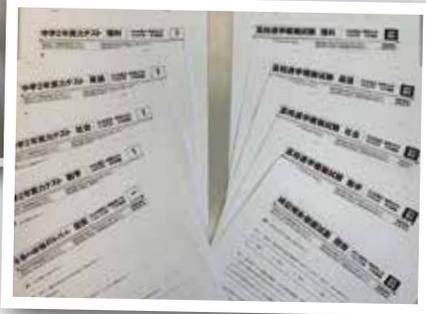


(担当 門脇)

去る六月六日(土)に若葉学習会全校舎で高校進学模擬試験と中学二年実力テストが実施されました。ここ米子校舎一号館では午後から中学三年生が模擬試験に、夕方からは中学二年生が実力テストに挑みました。コロナ禍の影響で、マスクをして座席の間隔を空けての受験でした。

五科目の答えは本校教員によって数日間採点され、データ処理され、得点・偏差値・順位・志望校判定が表やグラフで表記された成績表が作成され、志望校選定へのまたとない資料になります。

実力テストは年間三回実施され、次回は十一月。そして、模擬試験は年間五回、次回は八月に「鳥取県統一模試」として実施されます。県下数百人の高校生が一堂に集って受験するので



学園NEWS

米子校舎

職員随想

見えないもの

河田 健 二



この数年で老眼が進み、老眼鏡の度数がだんだん高くなるとともに、かけている時間も長くなってきました。いつもは歯を磨く時、眼鏡をしないのですが、ある時、たまたま眼鏡をかけていたら、見慣れた我が家の洗面台が、思いの外汚れていることに気がつきました。以前何かの本で読んだ、「顕微鏡が発明されて、僕たちの手は汚くなった。」という一節を思い出しました。この言葉には、2つの意味があります。

2つのレンズを組み合わせることで、物が大きく見える。この光学顕微鏡の原理は16世紀の末にオランダのヤンセンが発見したと言われています。顕微鏡の発明は、多くの科学者の微生物の発見につながりました。19世紀にはドイツのコッホが結核菌やコレラ菌を、日本ではコッホに師事した北里柴三郎が破傷風菌やペスト菌を発見しています。ペストについては、歴史上3回のパンデミックが起こっています。第1回は6世紀に地中海沿岸を中心に起こり、一億人以上の死者が出たとされています。第2回は13世紀からヨーロッパを中心に起こり、死者は2500万人とも5000万人とも言われています。第3回は1894年に香港で起こり、死者は1000万人とも言われています。彼は1894年に香港に渡り、ペスト菌を発見し、その特性、感染ルートなどを研究し、媒体であるクマネズミを駆除させ、感染の収束に力を尽くしました。彼の偉大な所は、破傷風菌についてもですが、ただ発見するだけでなく、その治療法を研究したことです。新千円札の肖像に彼が選ばれたのは、新型コロナウイルスによる感染拡大が起こっている現在、とても時宜を得たものであると思います。ここでちょっと計算をしてみましょう。ペスト菌の大きさは1μm、つまり千分の一ミリです。光学顕微鏡の最大倍率は1500倍です。光学顕微鏡ではペスト菌は約1.5ミリの大きさで見えます。ところが新型コロナウイルスの大きさはその10分の1の0.1μmです。光学顕微鏡では0.15ミリの大きさにしかありませんので、公開されている新型コロナウイルスの映像は、すべて電子顕微鏡によるものです。電子顕微鏡は、光学顕微鏡の千倍の性能があります。目には見えない小さな世界を見たいという飽くなき探求心は、これからも科学の発展につながっていくことでしょう。

最初の言葉のもう一つの意味は、自分の手が汚れているのではないかという思い込みをも生み出したということです。先月二十三日に、プロレスラーの木村花さんが亡くなられました。誹謗中傷に耐えかねた自殺と言われています。意味の似ている誹謗中傷には明確な違いがあります。誹謗は悪口を言うことで、中傷は根拠のないことだ名譽を傷つけることです。人は非難されるとき、それが全く事実と異なれば、まだダメージは少ないと思いますが、そこに一片の真実を嗅ぎとってしまうと、心理的に大きなダメージを負ってしまう。心優しい人ほど「もしかしたら、自分は汚れているのではないのか?」などと考えないで欲しいです。

細菌の発見のおかげで、私たちの生活は清潔に保たれています。しかしそれはときとして過剰な反応へとつながります。除菌のし過ぎは新たなアレルギーをも生み出しています。科学の進歩は大切ですがその進歩に振り回されて、もっと大切なものを失わないようにしたいものです。